

スマイル Cafe スペシャルインタビューレポート

おひとりさまインタビューを行いました



2014年5月30日（金）65歳以上のおひとりさまを対象にインタビューを行いました。

生活の中で感じる不便や将来への不安について意見を交わしたり、快適に暮らすために実践している工夫を披露しあったり、実りの多い時間となりました。こちらのレポートでは、その一部をご紹介します。

◇ 今後のために今から備えていることは？

「自治体の見守りサービスを利用して、緊急時には救急車が呼べる体制を整えている」

「子どもがないので、自分の葬儀は知人に依頼している。そのため、血縁ではないが保険会社に交渉して、死亡保険金の受取人にもなってもらっている」

「マンションの管理組合がNPOを立ち上げ、高齢の住人のための見守り・見回りを行っている」

「同じマンションの人とお互いに部屋のカギを持ち合い、緊急時には室内へ入れる状態を作っている」

「死後の家財等の片づけサービスについては聞いたことがあるが、生きている内からある程度身軽になりたいので、毎日3つつつモノを捨てることを実行にしている」

「70歳から、毎日、遺言書を書こうと思いつつも、また明日…と先延ばしにしている」

「大病をして、まずは治療が先決とたくさんのお金を使って回復することができたが、今後の生活費の不安が生じてしまった」

等々、すぐにマネしたい実践的な備え方が盛りだくさん。一方、これから備え方を考えなければならぬという声もありました。

◇ おひとりさまならではの不便や不安は？また、その対処法は？

「突然の病気で救急車を呼ぶことになったが、意識が途切れそうになる中で住所を伝えるのにも苦労した経験がある。」

「電球の交換など、こまごまとした不便を感じることは多い。たとえば、電球を近所の電気屋さんで買うと取り換えをしてくれたりするので、安さより便利さでモノを選ぶようにしている」

「体調が悪いとき、ひとりでは困ることは多い。ご近所とのコミュニケーションを密にして、助け合うようにしている」

「親のため、介護施設探しに奔走した経験があるが、自分のときには誰がその役目を担ってくれるのか…。」

「若いころ大病を患った経験から、将来意識がはっきりしているのに身体が動かない状態になることがとても心配。民間の介護保険で準備している」

等々、一人ひとりの環境の違いから、心配事は多岐に渡りましたが、共感の声とアドバイスが飛び交いました。1つでも多くの不便や不安を解消してスマイルが増えるように、いただいた貴重なご意見をさまざまな形で世に出していきたいと思います。

◇ 「おひとりさまスマイル Cafe」に期待することは？

「Webだけでなく、リアルな意見交換の場としてお茶会などを開催してほしい」

「施設見学などにも皆で出かけたい」

といった嬉しい提案をいただきました。ぜひ取り入れていきたいと思っています。